おきなわ

発行　浄土真宗本願寺派 沖縄県宗務事務所
発行人　佐々木　龍三

〒900−0005
沖縄県那覇市天久2−18−2
電　話（098）860−7009
ファックス（098）860−7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

第1回 実践運動推進研修会

1月26日（土）午後6時30分から沖縄別院本堂において、第1回実践運動推進研修会を開催しました。テーマは「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」。講師に西原祐治師（東京教区千葉組西方寺住職、本願寺派布教使）をお迎えしました。

講師の西原師

西原師は、「貧困とは、平和問題であり、人権問題である。貧困の核心は排除。貧困状態に至った時に社会から排除されることに大きな原因がある。『自他共に心豊かに生きることのできる社会に貢献する』とは、一切の排除をしないということ」と話され、最後に「沖縄県は子どもの居場所を作る活動に積極的で、活動に対する手当及び助成金が充実している。研修会を機に新たな取り組みを検討していただきたい」とまとめられました。

講演後は、貧困問題や都市開教について活発な質疑応答がありました。その一部をご紹介します。

表情ゆたかな西原師の講義に聞き入る参加者たち

質疑応答も熱を帯びる

質問：貧困問題や課題を抱えている地域に特徴はありますか？

西原師：最低賃金が低い地域は、貧困問題が多いと考えられます。また、自死者数が高い地域は、弱音を言える社会になっていないと考えられます。これからは、お寺が新しいコミュニティの核となったり、また、社会と個人との接着剤となるような活動に努めるべきではないでしょうか。

質問：生活保護を受けている方から助けてほしいと連絡がよくあります。お寺としてどうすればよいでしょうか？

西原師：住職一人で解決するのは困難で、限界があります。地域と協力し、体制を整えることも必要だと思います。

質問：西方寺を設立されましたが、門信徒を増やされた方法は？

西原師：都市には故郷を離れて暮らす離郷門信徒や元々仏教の信者さんが多く、葬儀や法事をご縁に門信徒になられました。現代人の需要に対し、お寺がどう対応していくのか、見極めが必要な時代になっています。

参加者が日頃から抱く疑問や課題に沿った研修会となりました。

法話　ご親教「私たちのちかい」から 和顔愛語

昨年11月にご門主さまより、「私たちのちかい」についてのご親教をいただきました。これは、第25代専如門主伝灯奉告法要（平成28年10月～29年5月）の初日にお示しになった「念仏者の生き方」をより親しみ、理解してもらいたいという思いから、肝要を4か条にまとめられたものです。

その最初に「自分の殻に閉じこもることなく　穏やかな顔と優しい言葉を大切にします　微笑み語りかける仏さまのように」とあります。

『仏説無量寿経』というお経の中に「和顔愛語　先意承問」というお言葉が出てきます。これは、「（お浄土では）和やかなやさしい笑顔と思いやりにみちた言葉がかけられ、先に相手の心をくみとって受け入れてくれる」という意味です。

つらいときや嫌なことがあったとき、愚痴をこぼしたくなるとき、そんなときこそ、まず自分から笑顔とやさしい言葉で周りの人に接する姿勢をとる、それが「和顔愛語」です。

自己中心的な考えの中で過ごすことしかできない私たちですが、ありのままの自分の姿を知らせていただき、相手を思いやる穏やかな顔とやさしい言葉をもって、おかげさま・ありがとうの感謝の心をはぐくみ、微笑み語りかける仏さまのように生きさせていただきたいものです。

ハイサイ!! 沖縄へようこそ

昨年11月27日（火）、築地本願寺和田堀分院奉賛会の皆さんが沖縄別院に参拝されました。ま新しい本堂や納骨堂を見学され、佐々木龍三輪番から沖縄での真宗の歴史や特区開教の歩みなどの話を聞いて、沖縄の現状に対する理解を深められました。

またのご参拝をお待ちしております。

築地本願寺和田堀分院奉賛会の皆さん

行事案内

3月後半の行事

キッズサンガ報恩講【久米島布教所】
3月17日（日）午前10時～

久米島布教所報恩講【久米島布教所】
3月17日（日）午後7時～
法話：佐々木龍三 師（別院輪番）

勤式練習会【沖縄別院】
3月18日（月）午後7時～
講師：伊波敬人 師（浄願寺住職）

春季彼岸会【沖縄別院】
3月21日（木）午前10時～
法話：佐々木龍三 師（別院輪番）

沖縄特区全戦没者追悼法要【沖縄別院】
3月24日（日）午後5時50分～
講師：大城貴代子 師（別院責任役員）

沖縄県宗務推進会議【天久礼拝所】
3月28日（木）午後7時～

4月の行事

はなまつり【沖縄別院】
4月7日（日）午前10時～
法話：佐々木龍三 師（別院輪番）

常例法座【天久礼拝所】
4月21日（日）午前10時～
法話：齋藤謙吾 師（別院職員）

キッズサンガ【久米島布教所】
4月21日（日）午前10時～

法話会【久米島布教所】
4月21日（日）午後7時～

※特区内寺院・布教所の行事告知・レポート、お寺紹介文などを募集しています。問合せ・申込みは特区報「おきなわ」担当まで。

報恩講法要

1月27日（日）午前10時より沖縄別院本堂にて宗祖親鸞聖人報恩講法要を佐々木龍三輪番の導師により修行しました。

結衆として特区内より誓願寺衆徒の谷口智行さんが出勤され、大阪教区より永井慶子さん、竹永広子さんに列衆として出勤いただきました。

↑谷口さん

↑（左から）竹永さん、永井さん

↓お話される西原師

また、沖縄県内外より多くの方々が参拝されました。

法要に続き、『御俗姓』を拝読し、講師の西原祐沿師（東京教区千葉組西方寺住職）よりお話をいただきました。

お参りの皆さんの読経の様子

終了後、出勤・参拝の皆さんとお斎をいただき、あわせて、皆さんがお持ちくださった数々のお供物・お土産を一緒にいただきました。ご門徒の大丸克子さん手作りの晩白柚（ばんぺいゆ）のゼリーは大好評でした。

「お斎」に舌づつみ

沖縄別院の報恩講は年々参拝者が増え、ご縁の輪がひろがっています。来年も多くのご参拝をお待ちしております。

勤式練習会

2月18日（月）沖縄別院本堂で勤式練習会を開催しました。練習会では、年度の前期は正信偈・和讃を、10月からの後期は3月24日（日）修行の「沖縄特区全戦没者追悼法要」出勤に向けて『佛説阿弥陀経』～巡讃・行道依用～を伊波敬人指導員（浄願寺住職）より指導いただいています。法要を3月にひかえ、結衆出勤予定の皆さんは熱心に練習に励んでいました。

本番どおり本堂内陣で行道の習礼をする

練習会はどなたでも参加いただけます。お気軽に別院までお問合せください。

もちつき大会

毎年末恒例の「もちつき大会」を、沖縄別院で12月24日（月・祝）に、久米島布教所では12月30日（日）に開催しました。多くの参加者と協力し、お正月にご本尊とご家庭のお仏壇にお供えするお餅を作りました。

「もちつき大会」は毎年年末に開催。今年の年末も皆さんお越しください。

みんなたのしく
ぺったん、ぺったん！

〈沖縄別院〉

もち米は、福岡県在住の門徒推進員で米農家の白石計介さんからご進納いただきました

婦人会の皆さん

ご本尊にお供え後
みんなで「ありがたくいただきます」

キッズサンガの仲間はじめ、島のたくさんの方があつまってくれました

おとなも、こどもも
ぺったん、ぺったん！

〈久米島布教所〉

除夜会 除夜の鐘

昨年末12月31日（月）、沖縄別院と久米島布教所で除夜会が修行されました。法要終了後は、参拝の皆さんに除夜の鐘を撞いていただきました。「平成最後の除夜の鐘ですね」という声があちこちから聞こえてきました。

〈沖縄別院〉

除夜の鐘に並ばれる皆さん。600名以上の方々にお参りいただきました

門信徒の皆さん手づくりのおぜんざいの振る舞い

ごおん！
南無阿弥陀仏

←除夜の鐘のあと、お手伝いくださった皆さんとささやかな新年会をしました

〈久米島布教所〉

みんなといっしょにお経をあげ
ご法話を聞いて
新しい年を待つ